

令和5年度 あかし市民活動応援助成金事業の実施報告について

市民活動の活性化と共助機能のさらなる強化を図り、共創による取り組みを推進するため、昨年度、制度をリニューアルして実施した「あかし市民活動応援助成金事業」について報告いたします。

1 助成金事業の概要

(1) 対象事業

よりよい地域づくりの実現のため、地域における社会的課題等の解決や、地域社会における共同利益の実現につながる公益的な活動にかかるもの

(2) 実施期間

令和5年4月1日～令和6年2月29日

2 令和5年度助成金事業の実施結果

(1) 助成金総額

8,929千円（42団体）

対象の活動	コース区分	団体数	助成金額
【活動助成】 申請団体自らが 市内において実施する 公益的活動	サポート10コース (上限10万円)	19	1,659千円
	サポート50コース (上限50万円)	15	6,725千円
【組織強化助成】 組織基盤強化に つながる活動	組織パワーアップコース (上限10万円)	8	545千円

(2) 採択団体事業実施内容

別紙のとおり

(3) 発表・交流会

実施日：令和6年2月10日（土）14:00～16:00

参加者数：16団体 52名

内容：希望団体による活動発表及び参加団体間の交流、意見交換

結果：アンケート結果において、「活動の参考になる発表が聞けた」「一緒に活動したい団体を見つけた」等の声が多く見られるなど、各団体の活動のブラッシュアップや、団体同士の連携が生まれるきっかけとなった。

(4) その他

本事業の実績を市ホームページで公表します。

3 令和6年度事業の実施状況

(1) 説明会

実施日：令和6年3月24日（日）10：00～12：00

参加者数：31団体 38名

内容：応募要領や申請書の書き方の説明及び個別相談

(2) 応募状況（期間 4月1日～4月30日）

申請団体数 63団体

（コース別内訳）

サポート10コース : 24団体

サポート50コース : 32団体

組織パワーアップコース : 7団体

(3) 助成事業決定までの流れ






2024年(令和6年)5月24日	書類・プレゼンテーション公開審査
6月中旬	結果通知発送

令和5年度 あかし市民活動応援助成金事業の実施報告
(R5.4.1~R6.2.29)

【サポート10コース】

団体名・助成額		事業内容
1	<p>明石市障害当事者等 団体連絡協議会 (通称ASK)</p> <p>助成額：10万円</p> 	<p>「障害者権利条約国連勧告とインクルーシブ教育について」の講演会開催</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●障害の有無に関係なく、子ども達が共に学べる社会づくりを目的とした講演会を開催。(参加者約100名) ●市インクルーシブ推進室や市教育委員会と連携し、講演会の中でインクルーシブ教育についてのパネルディスカッションを実施した。 ●インクルーシブ教育の方向性を深く学べたことにより、共生社会の実現につながる場となった。 ●全ての子どもが自己実現をし、社会で意味のある役割を果たすことができるようにするために、参加者個人ができることを考えるきっかけとなった。
2	<p>明石童謡の会</p> <p>助成額：10万円</p> 	<p>明石童謡の会</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内のコーラスグループ5団体で会を構成し、高校や中央児童合唱団と連携しながら「明石童謡のつどい」を開催した。(参加者約400名) ●出演団体みんなでつくるイベントとして、準備段階から子ども達を巻き込むなど、多世代交流を行いながら進めた。 ●子ども達も含めて童謡を歌い継ぐことで、伝統文化の継承や郷土愛の醸成に寄与した。 ●みんなで集まって歌を歌うことで健康寿命の増進につながった。
3	<p>あかねが丘学園・ 園芸クラブ</p> <p>助成額：6.6万円</p> 	<p>園児向け年末年始風物詩伝承事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●年末年始の風物詩であるミニ門松と、辰の竹工作及び寄せ植えを作成し、9つの幼稚園や保育所に提供した。 ●可能な範囲で子ども達と一緒に作成するなど、約140名の子どもが参加した。 ●作成の過程や各園に提供した際に、門松の文化的意義を説明したことで、子ども達に文化の継承が図れた。 ●子ども達と一緒に作成することを通じて、体験型の学びを提供した。






団体名・助成額		事業内容
4	<p>あかしパラスポ ネット</p> <p>助成額：10万円</p> 	<p>パラスポーツによるインクルーシブなまちづくり事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●中学校コミュニティ・センターやふれあいの里でパラスポーツ（ボッチャ、卓球バレー）を指導した。（計8回 約170名参加） ●小学校、中学校等でパラスポーツ体験を実施。（計4回 約110名参加） ●「ビーチフェスタ2023 in大蔵海岸」でボッチャの体験会を開催し、パラスポーツの普及啓発を行った。（約90名参加） ●社会参加の場を提供することで、引きこもりや閉じこもりの防止につながった。 ●こどもから大人まで、障害の有無や性別、国籍に関係なく、多くの人々の交流により互いの理解が深まり、共生社会の実現に向けて貢献できた。
5	<p>あかし不思議探検隊</p> <p>助成額：3.3万円</p> 	<p>明石の身近な自然環境を生かした楽しい社会教育支援事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●明石川流域や大蔵海岸、林崎松江海岸、明石公園で親子、三世代を対象とした環境体験学習を実施。（計4回 約80名参加） ●上記活動にあわせて、クリーン作戦やプラスチックごみの学習会を毎回実施した。 ●自然を体験するプログラムを通じて、こども達の環境保全に対する意識を醸成することができた。 ●明石の身近な自然環境の中で親子が一緒に遊ぶことで、明石が住みよく子育てしやすいまちであることを再認識してもらえらるきっかけになった。
6	<p>一般社団法人 withCAT</p> <p>助成額：10万円</p> 	<p>ウィズキャット</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●飼い主のいない猫のTNR活動（保護⇒避妊・去勢手術⇒元の場所に戻す）、里親探し等、飼い主のいない猫を増やさないための活動や、地域猫活動を市と連携して行った。（計331匹） ●地域猫へのエサやりに対する認識を改善してもらうため、「地域猫見守隊」のロゴが入ったビブスを配布した。 ●自治会・町内会単位での取組が増えるなど、地域猫活動の広がりが見られた。 ●上記に伴い地域猫に関する住民の意識の向上につながった。

団体名・助成額		事業内容
7	<p>NPO法人 明石おやこ劇場</p> <p>助成額：10万円</p>   	<p>未就園児と母親のための居場所づくり まめっこくらぶ</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小さな子どもとその保護者が他の人との関わりを持つことが難しくなっている課題を解決するため、安心して過ごせる居場所づくりに取り組んだ。（毎月3回実施） ●毎回、季節の行事を盛り込んだ工作やゲーム、絵本の読み聞かせ、外遊び等を行った。 ●プログラムに多彩な内容を取り入れたことで、小さな子ども達も保護者も飽きることなく遊びに集中できた。 ●保護者同士がゆるやかなコミュニケーションをとれる場を提供することができた。
8	<p>柿の木プロジェクトの会</p> <p>助成額：10万円</p>   	<p>柿の木プロジェクトの会</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域での親睦・交流・文化の伝承に努め、性別、年齢、地域を問わず誰もが仲良く集える場を作った。（約200名参加） ●学校園と連携し、一閑張りの実習や焼き芋づくり等を行った。 ●子ども達に古来より伝わる一閑張の技術を伝えることで、伝統文化の継承が図れた。 ●様々な活動を通じて子どもだけでなく、広く地域住民との交流を持つことができた。
9	<p>くつろぎ広場「ゆう」</p> <p>助成額：10万円</p>   	<p>レクリエーションによるコミュニティの醸成</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月に1度、1回2時間程度、はなぞの広場や西明石公民館等を利用して、レクリエーションを行った。（約130名参加） ●高齢者・幼児・児童・障害のある方など、誰でも参加でき、多世代で楽しめるゲームや紙芝居、音楽療法や気軽に楽しめる運動などを行った。 ●誰もが楽しめるレクリエーションを毎月行ったことで、定期的な交流の場をつくることができた。 ●音楽療法や簡単な運動を通じて健康の増進、心身の活性化を図った。

団体名・助成額		事業内容
10	<p>こころのひとみ あかし</p> <p>助成額：10万円</p>   	<p>手話を交えたコーラスとトーンチャイムの演奏活動</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●あかし市民図書館や、保育園、自治会館等で手話コーラスやトーンチャイムの演奏を実施。（計11回） ●演奏を聴くだけでなく、一緒に歌ったり実際にトーンチャイムに触れて簡単な楽曲を演奏する体験も行った。 ●演奏を通じて音楽の楽しさ、素晴らしさを伝え、人とつながるきっかけの一助となった。 ●子どもから高齢者までたくさんの人が楽しみ、多世代交流にもつながった。
11	<p>COPPY</p> <p>助成額：10万円</p>    	<p>インクルーシブ子育てサークルCOPPY</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ペープサートや手品、ミニゲーム等の親子で楽しめる多彩な子育てイベントを開催した。（計6回 約50名参加） ●幼稚園や子育て学習室からの依頼に応じ、ペープサート等の公演を各地で実施した。（計11回 約1,080名参加） ●子育てイベントでは、参加者同士の交流を通じ、孤独な育児からのストレスの軽減を図ることができた。 ●幼稚園等での公演が好評であったことで依頼が増えるなど、多くの園との連携を図ることができた。
12	<p>スタートライン</p> <p>助成額：6.5万円</p>   	<p>絵本とお話の会 たんぼぼ</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本を活用した居場所づくりを実現するため、毎月あかし市民図書館で絵本の読み聞かせや詩の朗読等を行った。（計12回 約240名参加） ●ウィズあかしと連携し、レンタル本棚におすすめ図書を設置した。 ●本を通じた憩いの場の提供だけでなく、親子での参加、祖父母との参加など三世代の交流を図ることができた。 ●中学生や高校生のスタッフも読み聞かせ等を行うことで、若者のスキルアップのきっかけとなった。

団体名・助成額		事業内容
13	特定非営利活動法人 陽だまりの会 助成額：10万円 	シンポジウム「ICTを活用したひきこもり支援のあり方（メタバース等を含めて）」 【内容・成果】 ●当事者・家族・支援者・行政・メディア等を対象に、ひきこもりについての啓蒙・啓発を目的としたシンポジウムを開催。（約250名参加） ●県や大学、民間企業等と連携し、オンラインも活用したハイブリッド形式で開催した。 ●ICTを活用したひきこもり支援の方向性や有用性を広く発信できた。 ●シンポジウムの開催にあたって他機関との連携を進めたことにより、民間団体同士のネットワークが構築された。
14	兵庫県明石地区 里親会 助成額：8.1万円 	児童養護施設・乳児院の子ども達との交流事業 【内容・成果】 ●明石地区里親会に加入している里親とその里子や、市内の児童養護施設や乳児院に入所している児童を対象に歌のコンサートを開催した。（約40名参加） ●歌の合間には出演者の子育ての話やこどもへの想いを話してもらうなど、参加者の意識啓発を図った。 ●参加者みんなで交流したことで、里親の必要性を再認識し、活動への意欲向上が図れた。 ●人見知りだった児童が人前で歌ったり、ステージ上の出演者に花束を渡したりするなど、こどもの成長につながった。
15	ふらっと&もあ 助成額：6.6万円 	障害者の余暇支援と社会資源開発事業 【内容・成果】 ●「遊ぶ」「学ぶ」「集う」をテーマにし、概ね月1回の余暇イベントを実施した。（約100名参加） ●「遊ぶ」ではボルダリング体験やウォークラリー、「学ぶ」では調理体験や音楽体験、「集う」では座談会を行った。 ●障害者の休日の充実を図り、活動の幅が広がったことで障害者の社会参加につながり、インクルーシブな社会づくりの実現に貢献した。 ●活動に協力する外部ボランティアが少しずつ増えるなど、社会資源（支援者）の創出につながった。

団体名・助成額		事業内容
16	町劇Akashi 助成額：10万円   	ビブリオバトルシアター 【内容・成果】 ●コミュニケーションの場づくりとなるよう、また、読書の推進となるようビブリオバトル（面白いと思った本を参加者が紹介し、優勝を決めるもの）を開催した。（計2回 40名参加） ●小説、漫画、絵本など多彩なジャンルの本についてディスカッションが行われた。 ●参加者アンケートでは「読書に親しむ良いきっかけとなった」「良い時間が過ごせた」と答えた参加者が多く、読書に対する意識向上が図れた。 ●人前で話すことが苦手な人のコミュニケーション力向上のきっかけとなった。
17	マリーズサークル 助成額：10万円    	ズンバダンスフィットネスの普及による高齢者・障害者の健康維持 【内容・成果】 ●ズンバダンスフィットネスをコミセン、ウィズあかし、大蔵海岸公園等の公共施設や、地域の公民館等で開催した。（計22回 約130名参加） ●上記については、健康維持や体力増進、血液循環、筋力トレーニング、脳トレとなるように取り組んだ。 ●性別、年齢を問わず誰にでもできる運動であるため、高齢者や障害者の健康維持や体力増進につながった。 ●当活動に参加することで、引きこもりの防止にも貢献できた。
18	Love me 助成額：7.9万円    	Love me 【内容・成果】 ●子育て中のママを対象として、アロマクラフトやヨガ、食育勉強会等を開催した。（計6回 約40名参加） ●参加者が自分と向き合うイベントを開催し、1年間で頑張ったことや学んだこと、今の自分はどうか、翌年の目標などについてみんなで振り返った。 ●「良い交流が持てた」「親交が深まってよかった」などの声が多数あるなど、孤独を感じやすい子育て中のママの新たなコミュニティの構築に貢献できた。 ●自分と向き合うイベントでは、参加者のエンパワーメントにつながる機会を提供することができた。

団体名・助成額		事業内容
19	WATARIUMI 助成額：6.8万円	<p>ビーチクリーンで明石の海を守り自然の中で楽しもう！ ～地球の未来と子ども達の未来のために今私たちができること～</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●月2～4回の海岸清掃でビーチ全体のごみ回収を実施した。また、ビーチの砂に混ざったマイクロプラスチックごみとBBQによる炭の回収も行った。（約200名参加） ●ごみ拾いに合わせて、ごみを使ったワークショップや、ビーチヨガ、映画上映などを行った。 ●ビーチクリーン活動を通じて海岸に目立つごみが少なくなっている。 ●活動に参加した人が、活動外でも自主的にごみ拾いをするなど環境問題への関心が高まり、環境を意識した行動につながっている。
	    	

令和5年度 あかし市民活動応援助成金事業の実施報告
(R5.4.1~R6.2.29)

【サポート50コース】

団体名・助成額		事業内容
1	<p>AKASHI 135° 会</p> <p>助成額：34万円</p>    	<p>子ども達への歴史文化の継承</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●街の活性化とこどもの歴史への興味を引くことを目的とし、甲冑をまとって時のウィークやひょうごまちなみガーデンショー等のイベントに参加した。(約50名参加) ●イベントだけでなく、大蔵海岸をはじめとした清掃活動も行った。(約50名参加) ●こどもの関心を引く甲冑を通して、子ども達が明石の歴史に触れ合う機会ができた。 ●イベント後の清掃活動を通じて、イベント参加者の環境意識の向上及び環境美化につながった。
2	<p>一般社団法人 明石青年会議所</p> <p>助成額：49.1万円</p>   	<p>何個知っているかな？東播磨の魅力を！</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山陽電車や企業、観光協会等と連携し、明石から高砂間のウォークラリーを行った。(約300名参加) ●ウォークラリーでは、セリ見学や酒蔵見学等、東播磨の魅力に触れる体験活動を実施した。 ●ウォークラリーとして明石駅で降りてもらうことで、参加者に新たな明石の魅力を発信することができた。 ●本活動の中で集めた写真を使い、東播磨魅力カルタを作成し、図書館や公共施設に寄贈したことで、こどもが自分の住んでいる町に興味を持つきっかけを作った。
3	<p>一般社団法人 みんなの居場所 ニーム</p> <p>助成額：40万円</p>    	<p>手話言語をひろめよう（手話に通じた地域リーダー育成・手話を用いた居場所づくり）事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●兵庫県ろうあ協会と連携しながら月2回手話講座を開催し、手話に精通した地域リーダーの育成を行った。(約130名参加) ●月1回手話カフェを開催し、手話を用いた居場所づくりを行った。(約150名参加) ●新しく講座に参加する人が増えたり、これまで参加していた人がサポート側に回ったりするなど、手話に精通した地域リーダーが少しずつ育成されてきた。 ●手話カフェが徐々に地域で認知されてきたことで、こども連れでの参加が増えるなど、障害の有無に関係なく楽しめる居場所が作れた。

団体名・助成額		事業内容
4	ウイメンズサポート 明石 助成額：48.1万円    	女性のための女性による専門相談会 【内容・成果】 ●離婚、借金、健康、DV等、女性が抱える多種多様で困難な問題に対し、各種専門家による個別相談会を実施した。 ●団体の認知度を向上させるため「今なぜ女性支援が必要か」をテーマとした講演会を実施した。（約50名参加） ●どこに相談したらよいか困っている女性にとって、無料相談会で対応できたことは有益であった。 ●女性自身が問題に対して主体的に向き合い解決する力をつける一助となった。
5	ウォーターランド 実行委員会 助成額：50万円    	ウォーターランドin明石2023 【内容・成果】 ●親子で楽しめる夏の思い出を作るため、県立明石公園で水鉄砲を使ったスプラッシュサバゲー等が楽しめる「ウォーターランドin明石2023」を開催した。（約1,000名参加） ●ステージでは、こどもを対象としたダンスバトル大会（個人戦）、ダンスコンテスト（チーム戦）も行った。 ●地元での楽しい思い出ができたことで、こども達の郷土愛を育むことに貢献した。 ●別々に来ていたこども達と一緒に遊んでいる姿が多く見られるなど、こどもの成長にもつながる環境づくりの一助となった。
6	NPO法人 ウエルネスハート 助成額：39.7万円     	コミュニケーションカードで人と地域をつなぐ 防災、災害、緊急時に強いコミュニティづくりプロジェクト 【内容・成果】 ●市内の市民活動団体や事業所、防災訓練を実施している団体や防災に関心のある人たちを対象に、「緊急時コミュニケーションカード」の普及活動を行った。 ●一般市民やボランティアグループ、学校などを対象としたコミュニケーションカード記入会を開催した。（計25回 約140名参加） ●PR用動画の作成や広報物の作成、配布を通じて、コミュニケーションカードの認知度を向上させるとともに、必要性を浸透させることができた。 ●記入会参加者が友人に伝えたことで、別の場所で独自に記入会が実施されるなど、コミュニケーションカードの自然な広がり生まれた。

団体名・助成額		事業内容
7	<p>NPO法人 お一えんくらぶ</p> <p>助成額：50万円</p> 	<p>つなげ隊・つなげ隊petit</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●乳児の保護者を対象に、子育てを楽しめるイベント（つなげ隊petit）を開催した。（計10回 約50家庭参加） ●子育て世代の保護者を対象に、悩みを解消できる講座や交流会（つなげ隊）を開催した。（計8回 約65家庭参加） ●保護者同士が交流する場を設けたことにより、互いに悩みを相談、共有することができ、子育てに関する悩みの緩和や解消につながった。 ●参加者から「地域の人に教えてあげたい」という声が出たり、1人目のこどもの育児中から参加していた保護者が、2人目を出産後も参加してくれているなど、徐々に事業が浸透している。
8	<p>casaそら</p> <p>助成額：50万円</p> 	<p>「おとなりさんコミュニティ」づくり事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主的に集いつながるコミュニティを形成するため、みんな食堂、ピーチクリーン活動、認知症カフェ、コミュニティカフェをそれぞれ毎月実施した。（約900名参加） ●隣接する畑で野菜やハーブを育て、みんな食堂やコミュニティカフェ等で使用した。 ●毎月様々な世代の人が参加できるイベントを継続的に開催したことで、参加者同士のつながりが深まり、良好なコミュニティが形成されている。 ●子ども達に動画制作やイラストデザインを任せたことで、子ども達のやる気や責任感の醸成につながった。
9	<p>CocoKaraルーム そら</p> <p>助成額：47.2万円</p> 	<p>「生きやすく生きる」を支える事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自殺予防や発達障害に関する勉強会を開催し、実情や支援法について学んだ。（約70名参加） ●自費の検査が受けられない家庭からの相談に対して、看護師・臨床心理士による相談受付や検査を実施した。（4件） ●勉強会では、専門職だけでなく一般の参加者も多く、それぞれの家庭や職場で得た知識を生かすきっかけとなった。 ●相談のあった世帯への知能検査等を実施したことによって、これまでは家族内で収められてきた問題が外とのつながりを持つことで、適切な支援、さらには虐待や非行の予防にもつながっている。

団体名・助成額		事業内容
10	<p>「トゥギャザー☆フェス」実行委員会</p> <p>助成額：41.6万円</p> 	<p>「トゥギャザー☆フェス」</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●障害理解の促進や、障害者と地域の方との交流の場となるよう「トゥギャザー☆フェス」を開催した。（約600名参加） ●当日は障害福祉事業所等の出店や、様々なワークショップ、ユニバーサルスポーツ体験を行った。 ●学生ボランティアが60名集まったことや、そのアンケートの中で「利用者さんの笑顔に感動した」「人と人が繋がりがあえていた」と感じていたことから、障害や福祉に対する興味や関心を持ってもらうことができた。 ●イベントを通じて一般参加者と共に活動・体験したことにより、共生社会の実体験の場となった。
11	<p>鳥羽青年会・屋台保存会</p> <p>助成額：30.5万円</p> 	<p>海ガメ プロジェクト</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境に配慮し、廃材をメインとした材料で自作の「ふるい」を制作し、月1回林崎松江海岸で砂浜に廃棄された炭やごみの除去活動を実施した。（計10回 約200名参加） ●SNSを活用し、ごみの持ち帰りや所定の収集場所への廃棄を呼びかけるとともに、炭やごみの処理について情報発信を行った。 ●昨年度と比較し、砂浜への炭の放棄が減少するなど、海岸の美化が図られた。 ●SNSによる拡散で、親子連れによる参加希望や、市外の参加者も増加するなど、環境意識の向上に寄与した。
12	<p>ハコニワ</p> <p>助成額：50万円</p> 	<p>「遊んでるハコ」を「遊べるハコ」へ！～みんなで作ろう！～</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バザール明舞の空き区画を参加者と一緒にDIYで改装し、地域交流の拠点づくりを行った。（計7回 約30名参加） ●兵庫県立大のゼミ生とコラボし、改装後にフリーマーケットやゲームイベントを開催した。（約200名参加） ●改装の過程から地域住民が参画したことで、空間の印象が向上しただけでなく、地域への愛着を持ってもらうことができた。 ●上記イベントの開催により、地域交流の拠点としての可能性が感じられた。





団体名・助成額		事業内容
13	<p>ヘリテージ明石</p> <p>助成額：50万円</p> 	<p>明石ヘリテージマップの「人丸」「城下」の和英語版WEBサイトの構築</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の歴史文化資源への関心を高めるため、まち歩きマップに「人丸」と「城下」を追加するとともに、日本語と英語に対応したマップをWEBサイトに掲載した。 ●新しいWEBサイトのチラシを作成・配布し、歴史文化資源の普及啓発を行った。 ●特に海外からの観光者には有効なガイドブックとなり、明石での滞在時間の延長が見込まれる。 ●明石の歴史的文化的価値への関心が高まり、地域学習のきっかけづくりとなった。
14	<p>ママの働き方応援隊 明石校</p> <p>助成額：43.1万円</p> 	<p>赤ちゃん先生プロジェクト</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●小学生を対象に、0歳～3歳の赤ちゃんとその母親を講師とする「赤ちゃん先生」の授業を行った。（6小学校 児童約600名参加） ●母親から児童に対して、妊娠している時の話や出産・育児・パートナーとの関係等について話をしてもらい、命の大切さを伝えた。 ●小さな命との触れ合いを通じて命の大切さを学ぶ機会となった。 ●本助成金を活用したことで、予算の関係でこれまで開催できなかった学校に対して、赤ちゃん先生の授業を行うことができ、活動の幅が広がった。
15	<p>めいまいアクティ部</p> <p>助成額：49.2万円</p> 	<p>朝霧・明舞地区コミュニティ活性事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バザール明舞にコミュニティスペースを整備し、ふれあいコーヒー（喫茶）やふれあい工作教室等を開催した。（計19回 約100名参加） ●ふれあいマーケットも3回開催し、そのうち1回は兵庫県立大生とコラボで実施した。（約400名参加） ●ふれあいコーヒーでは、高齢者を中心に地域住民が多く足を運び、住民同士の親睦を深めることができた。 ●ふれあいマーケットでは、出店者が出店者を呼ぶなど、多くの繋がりができ、新たなまちの「プレイヤー」の発掘にもつながった。

令和5年度 あかし市民活動応援助成金事業の実施報告
(R5.4.1~R6.2.29)

【組織パワーアップコース】

団体名・助成額		事業内容
1	<p>エコベ</p> <p>助成額：10万円</p>    	<p>チャリティショップ運営知識強化とエコベのコアなファンづくり体制強化プロジェクト</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●古着チャリティショップへの視察（計3回）や、メンバー向けの研修会（月に2～3回）を実施した。 ●情報発信を強化するため公式LINEを有料プランに変更した。 ●視察では現地ではしか得られない情報を得ることができ、研修会では視察で得られた知識を元にメンバー間での知識強化が図れた。 ●公式LINEのプラン変更により、これまで以上に活動報告を行うことができ、取組への関心を高めることができた。（登録者数が108名⇒168名）
2	<p>NPO法人 ウエルネスハート</p> <p>助成額：10万円</p>     	<p>思いを伝える言葉に変える 設立11年目からのブランディングづくりとロゴ/広報物作成による新ウエルネスハートPR活動</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NPO法人シミンズシーズの支援の下、法人のブランディングを強化するためのキャッチコピーとリーフレットを作成した。（1,000部） ●法人スタッフの目的意識が明確になり、活動の有意義性や独自性が共有できた。 ●上記に伴い、自分達の活動に自信が持てるようになった。
3	<p>casaそら</p> <p>助成額：8.1万円</p>   	<p>「おとなりさんコミュニティ」づくり事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動においてこどもと接する機会の多いスタッフを対象に、大学教授等を招いて、接する上での大切なことを学ぶワークショップ形式の講座を開催した。（大人、こどもあわせて約30名参加） ●大人だからといって上から指示するのではなく、大人もこどもも一緒に楽しみながらゆったりとした時間を持つことや、心を開き話し合うことの大切さが実感できた。

団体名・助成額		事業内容
4	<p>語ろう会</p> <p>助成額：8.7万円</p> 	<p>人生の再発見</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メンバーに対し、ライフストーリー理論の学習及び、自分自身の人生を語る意味・方法や相手の話を深く聞き出す実践講座を開催した。(計5回 約90名参加) ●団体メンバーの理解が深まっただけでなく、当団体の活動への参加につながった一般参加者も見られた。
5	<p>スタートライン</p> <p>助成額：3.1万円</p> 	<p>学校に行きにくい子たちのママのおしゃべりサロン ひだまり</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●発達障害等に対する知識の習得や情報収集を行うため、各種講演会に参加した。(計9回 約20名参加) ●様々な支援者や団体とつながりを持つことができたことで、情報提供や情報交換だけでなく、今後の協力し合える関係を築くことができた。
6	<p>特定非営利活動法人 多文化センター まんまるあかし</p> <p>助成額：8.1万円</p> 	<p>次の10年に向けての組織体制作り</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●今後の活動(外国人支援活動)の方向性を探るため、先進地域を視察し意見交換を行った。(4団体を視察) ●活動資金の調達方法、支援者の確保の方法やスキルアップ対策等、様々な観点から実際の事例を聞き、団体運営のノウハウを学ぶことができた。
7	<p>兵庫県明石地区 里親会</p> <p>助成額：3.5万円</p> 	<p>先進地域の里親会に学ぶ組織体制強化事業</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●先進地域の里親会を視察し、情報交換を通じて組織の基盤強化を図った。(4名参加) ●仲間づくりや啓発活動の進め方、会議方法等に関する有意義な情報交換が行われたことで、今後の組織運営のヒントとなった。

団体名・助成額		事業内容
8	<p>ママの働き方応援隊 明石校</p> <p>助成額：2.9万円</p>    	<p>赤ちゃん先生プロジェクト</p> <p>【内容・成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●メンバーの知識習得のため、「家庭でできる性教育講座」を実施した。(約30名参加) ●「性教育」について、こどもへの伝え方を具体的に学ぶことができ、「命の大切さ」を伝える普段の活動に生かせるものとなった。